総合結婚式場—寿司会館の照明†

正 会 員 野 中 武* 正 会 員 池 上 修 巳*

1. 概 要

当施設は高知市より 20 km ほど東方の海岸沿いに位置しており、以前より利用客の多かった旧施設が、地域一番店を堅持するため増改築されたものである。

宴会場は照明と音響と映像により演出効果を高め、特に、まだ全国的にも例がないプラスチック光ファイバによる装飾照明が大胆に導入されている。

2. 照 明 設 計

施設の性格上、華やかさと暖かみのある雰囲気、そして調光設備への対応が要求される。

また、球数が多くなることから、ランプメンテナンスの容易なこともポイントであった。

2.1 玄関ロビー

玄関ロビー（図 1）は、花をイメージした作りになっている。花びらの部分は、3,100φの金色のフレームに電球 5 W の透明形（30φ）を 90 灯取り付けた。

図 1 玄関ロビー

シャンデリアは、1,000φでクリスタルビーズと、7φのガラス管で構成している。光源は小型クリプトンランプ 40 W を 11 灯使用している。

2.2 吹き抜け

吹き抜け（図 2）は、階段に合わせて、クリスタルビーズをらせん状に配置した縦長のシャンデリアと、だ円形のシャンデリアを組み合わせている。

図 2 吹き抜け

縦長シャンデリアは 600φ、高さ 3,400 とし、インテリアランプ 100 W を 4 灯使用している。だ円形シャンデリアは、1,300×2,400、高さ 450 とし、小型クリプトンランプ 40 W を 20 灯使用している。

2.3 宴 会 場

宴会場（図 3）は、クリスタルビーズをふんだんに使用した、だ円形の大型シャンデリアに、プラスチック光ファイバによる装飾照明を組み込んだ。天井面の段差の部分には、赤、青、白の蛍光灯で間接照明をし、カラー演出も可能にしている。

ダウンライトは、電球 100 W の高効率開放形で、シャンデリアとのトータル平均照度 400 lx を得ている。

平面プランを図 4 に示す。

図 3 宴会場

† Illumination of a General Wedding Hall, the Ichizushi Kaikan

* 株式会社照明

Takeshi Nonaka, Osami Ikegami

図 4 宴会場の平面図

3. 光ファイバによる装飾照明

羽ばたきながら空を飛んでいる 2羽の鶴を中心に、次の三つのパターンを組み合わせデザインした (図 5)。

- A (夫婦岩) と (寿, おめでとう) の文字
- B (天の川) と (星座)
- C (富士山) と (Congratulation)

光ファイバ独特の色変化はたいへん鮮やかで、キャンドルサービスなどの暗転時には、別世界にいるような気分に

図 5 シャンデリアと光ファイバ

なる。光ファイバの光源装置は天井裏に設置しているので、シャンデリアの天板を開いてメンテナンスできるように設計した。納まりを図 6 に示す。

使用ファイバ

プラスチック光ファイバ 0.5 φ	26,800 本
" 0.75 φ	40,580 本
" 1.0 φ	250 本

光源装置

12 V 50 W	ダイクロイックミラー付きハロゲンランプ
3 灯用	8 台
" 1 灯用	8 台

所在地

施主 (有)一寿司
設計監理 かめお設計(株)
建築工事施工 岸之上工務店(株)
電気工事施工 不二電気工芸(株)
照明設計施工 (株)宮地照明
ファイバ製作施工 (株)宮地照明
竣工 昭和 62 年 8 月

(受付 1987 年 9 月 22 日)

図 6 シャンデリアと光ファイバ部の断面